

クリーンエレガントップシリーズ



北海道大学獣医学部講義棟
(エレガンストーン/クリーンエレガントップD)

いつまでも美しくありたい 塗膜の汚れ問題に挑戦

重厚感あふれる石材調塗材も、表面がラフなため、汚れが目立ちやすい状況にありました。クリーンエレガントップシリーズは、セラミック複合のオリジナル技術により、これを解決しました。弱溶剤形ウレタン樹脂系のクリーンエレガントップDと、弱溶剤形アクリルシリコン樹脂系のクリーンエレガントップシリコンがあります。*

*この他、強溶剤形のクリーンエレガントップSもございます。詳しくは別途お問い合わせください。

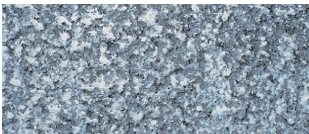
〈特長〉

超 低汚染性

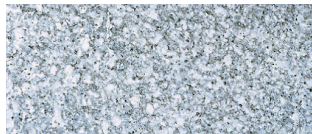
特殊セラミック成分を複合化することにより、塗膜表面は低帯電性となり、大気中の排気ガスや粉塵による汚れが付着しにくい構造を実現しました。また、付着した汚れも塗膜表面が親水性であるため、雨水により汚れが徐々に除去され、長期に亘り優れた超低汚染性を発揮します。

【汚染性比較】

雨すじ汚染試験 (屋外暴露3ヶ月) ※例: クリーンエレガンストーン



汎用トップコート



クリーンエレガントップ

高い 耐久性

ウレタン架橋(クリーンエレガントップD)とシロキサン架橋(クリーンエレガントップシリコン)を有する強靱な塗膜は、耐水・耐アルカリ性に優れ、熱や紫外線に対して安定した性能を示す他、耐薬品性、耐候性、耐久性に優れています。

優れた 付着性

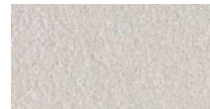
各種石材調塗材などと、長期に亘って強固に密着します。

適用下地

内外装材のクリヤー仕上げ 特に、石材調塗材の上塗りに最適。
(エレガンストーン、エレガンスタイルTS、グラニバステル、グラニースタック 他)



エレガンスタイルTS



グラニバステル



グラニースタック

標準施工仕様

クリーンエレガントップD3分艶(弱溶剤形)

(23℃)

| 材 料 | 調合 (重量比) | 所要量 (kg/m ²) | 塗回数 | 間隔時間(hr) | | 備 考 |
|--------------------|-------------|-----------------------------|-----|-------------|------|---|
| | | | | 工程内 | 最終養生 | |
| クリーンエレガントップD3分艶 主剤 | 100 | 0.30~ 0.35 | 2 | 3以上 7日以内 | 24以上 | エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm |
| クリーンエレガントップD 硬化剤 | 15.4 | | | | | |
| 塗料用シンナー A | 0~20 | | | | | |

クリーンエレガントップシリコン3分艶(弱溶剤形)

(23℃)

| 材 料 | 調合 (重量比) | 所要量 (kg/m ²) | 塗回数 | 間隔時間(hr) | | 備 考 |
|-----------------------|-------------|-----------------------------|-----|-------------|------|---|
| | | | | 工程内 | 最終養生 | |
| クリーンエレガントップシリコン3分艶 主剤 | 100 | 0.30~ 0.35 | 2 | 3以上 7日以内 | 24以上 | エアレススプレーガン 吐出量:800~1000ml/分 パターン幅:25~30cm |
| クリーンエレガントップシリコン 硬化剤 | 7.14 | | | | | |
| 塗料用シンナー A | 0~10 | | | | | |

*この他、両製品共、艶有りタイプと艶消しタイプがあります。

荷 姿

- ★クリーンエレガントップD 主剤……………13kg石油缶、3.25kg缶
(艶有り、3分艶、艶消し)
 - ★クリーンエレガントップD 硬化剤……………2kg缶、0.5kg缶
(標準塗坪：42～50m²/15kgセット、10～12m²/3.75kgセット)
 - ★クリーンエレガントップシリコン 主剤……………14kg石油缶、3.5kg缶
(艶有り、3分艶、艶消し)
 - ★クリーンエレガントップシリコン 硬化剤……………1kg缶、0.25kg缶
(標準塗坪：42～50m²/15kgセット、10～12m²/3.75kgセット)
 - ★塗料用シンナーA……………16ℓ石油缶
- ※上記の標準塗坪は一般的なものであり、下地の状態や環境などによる所要量の増減に応じて変わることがあります。ご了承ください。

性能試験成績表

クリーンエレガントップD(艶有り)

JASS 18 M-502
2液形ポリウレタンワニスに準拠

| 試験項目 | 結果 | 規 定 |
|-----------|----|--|
| 透 明 性 | 合格 | 透明であるものとする。 |
| ポットライフ | 合格 | 3時間で使用するものとする。 |
| 塗 装 作 業 性 | 合格 | 吹付け塗りで、塗装作業に支障があってはならない。 |
| 乾燥時間 (h) | 合格 | 16以内 |
| 塗 膜 の 外 観 | 合格 | 塗膜の外観が正常であるものとする。 |
| 耐 水 性 | 合格 | 水に浸しても異常があってはならない。 |
| 耐アルカリ性 | 合格 | アルカリに浸しても異常があってはならない。 |
| 屋外暴露耐候性 | 合格 | 12か月の試験でふくれ、割れ、はがれがなく、見本品に比べてつやの変化が大きくないものとする。 |
| 加熱残分% | 合格 | 30以上 |

危険情報と安全対策

製品の取り扱いには、それぞれの安全データシート(SDS)に従ってください。特に、★のついている製品は溶剤形のため、下記の点にご注意ください。

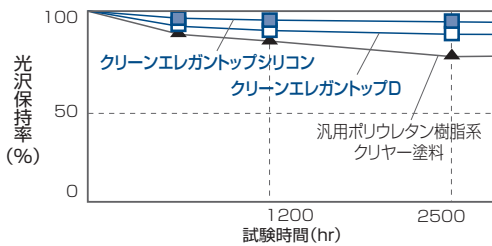
1. 引火性の液体のため、火気厳禁です。
 2. 有機溶剤中毒のおそれがあるため、換気に注意し、防毒マスクまたは送気マスクを使用するなどの安全対策を行ってください。
 3. 施工においては、溶剤成分が室内に流入しないように十分注意してください。
- ※屋内作業等、使用環境によっては、特定化学物質障害予防規則、有機溶剤中毒予防規則等の規制を受ける場合があります。詳しくは別途、施工仕様書等をご確認ください。

クリーンエレガントップシリコン(艶有り)

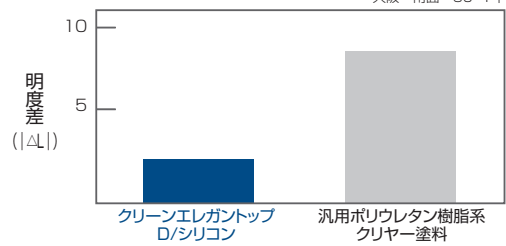
JASS 18 M-205
アクリルシリコン樹脂ワニスに準拠

| 試験項目 | 結果 | 規 定 |
|-----------|----|--|
| 透 明 性 | 合格 | 透明であるものとする。 |
| 塗 装 作 業 性 | 合格 | 2回塗りで、吹付け塗りの塗装作業に支障があってはならない。 |
| ポットライフ | 合格 | 5時間で使用するものとする。 |
| 乾燥時間 (h) | 合格 | 16以内 |
| 塗 膜 の 外 観 | 合格 | 塗膜の外観が正常であるものとする。 |
| 耐 水 性 | 合格 | 水に浸したとき異常があってはならない。 |
| 耐アルカリ性 | 合格 | アルカリに浸したとき異常があってはならない。 |
| 屋外暴露耐候性 | 合格 | 24か月の試験でふくれ、割れ、はがれがなく、つやの程度は見本品と比べて大差のないものとする。 |

促進耐候性<キセノンランプ> (艶有り)



屋外暴露汚染性



施工上の注意点

1. 強風時、または降雨、降雪のおそれがある場合、及び気温5℃以下、湿度85%以上での施工は原則的に避けてください。気温5℃以下で施工が要求される場合は、採暖及び採暖のための養生により、雰囲気温度、被塗面温度を5℃以上とってください。冬期においては、施工条件が特に厳しくなる場合があるため、事前に関係者と十分な打ち合わせを行ってください。
2. 塗膜の剥れ、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、著しく結露が生じるような場所での使用は避けてください。
3. かび、藻が付着している場合は、「SKKカビ除去剤#5(塩素系)」にて拭き取ってください。
4. 材料は規定の範囲内の希釈を厳守し、電動ミキサーなどを用いて内容物が均一になるよう十分に攪拌してください。
5. 所要量は被塗物の形状、素地の状態、塗装方法、気象条件、希釈率等の各種条件により増減します。
6. 塗り重ね時間は環境(温度、湿度、換気、風通しやすさ)や膜厚によって変わります。
7. 低温又は高湿度時には、乾燥が遅くなりますのでご注意ください。
8. 艶調整品(艶有り以外の3分艶、艶消しなど)は、被塗物の形状、膜厚や塗回数、希釈率の差などにより、実際のつやと若干異なって見える場合があります。
9. 最終養生の時間内に、降雨、結露などがあれば、塗膜の剥れ、はく離、白化、しみの発生につながる場合がありますので、塗装を避けるか強制換気などで表面の水分を除去してください。
10. 陶磁器タイル洗浄用の酸が塗装面に付着すると、変色や溶解などの異常を生じることがありますので、これを防止するために、あらかじめ塗装面の養生を行ってください。
11. シーリング材の上へ施工する場合、シーリング材の種類、材齢により塗膜が密着しないことや汚染することがあります。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。
12. 間隙が広いなど、大きな動きが予想されるシーリング打設部への塗装は、塗膜がひび割れる可能性がありますので、なるべく避けてください。
13. 施工部位により、低汚染性が十分に発揮されないケースがあります。特に、傾斜壁の下端部、笠木など、水切りのない部位、窓廻りで水切りが不十分な場合、雨がかからない部位は、注意が必要です。
14. 上塗材はむらなく均一に塗付してください。低汚染機能が発揮するためには、塗付量の確保が重要な事項です。特に凹部に塗り残しがないよう、注意してください。
15. クリーンエレガントップは、主剤と硬化剤を指定の比率で調合し、電動ミキサーなどで十分に攪拌混合(2分以上)してご使用ください。主剤と硬化剤の混合比率が不適切であったり、他の材料と混合したり、硬化剤を投入しなかった場合、低汚染機能が発揮されませんので、必ずこれを厳守してください。また、材料調合後は、缶に表示されている可使時間内に使い切るようにしてください。なお、塗料の温度は保管場所により大きく影響を受けますので、ご注意ください。
16. 上塗材は所定の乾燥時間(最終養生時間)を厳守してください。施工後、塗膜が硬化するまでの時間内に降雨などにより、塗膜表面が長時間、水分にかかった状態になりますと、所定の低汚染機能が発揮されない場合があります。低汚染機能は硬化後の塗膜で発揮されるため、乾燥過程で降雨などが予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に雨が当たらないよう、所定の乾燥時間を厳守してください。
17. 鉄さび・シーリング材などが原因の汚染物質に対しては、低汚染機能が十分に発揮されません。シーリング材には可塑剤を含まないノンブリージングタイプのもを選定してください。
18. その他、詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。
19. このパンフレットに記載の商品は、予告なしに仕様や取り扱いを変更することがあります。また、このパンフレットに記載の内容について、無断転載・複製を禁じます。特記仕様がある場合は、これを最優先にしてください。詳しくは最寄りの各営業所へお問い合わせください。